

オーバーナイトハイク について

オーバーナイトハイクとは

【目的】

約30kmという距離を歩くということを通じて、目標に向かって歩み、それをやり遂げる達成感など、様々な思いを感じながら、体験することにより、子供たちの健やかな成長の一助とする。

【歴史】

1984年に第1回が開催（初回参加者は今、50歳くらい）　今回で第32回の開催と、非常に歴史と伝統のある行事

【規模】

初回参加者は数十名程度であったが、徐々に規模が大きくなっていった。現在では、行政から安全上の指導もあり、生徒・相談員合わせ1,000人程度を上限目安。

【構成】

約1,000人をABCDの4グループに分け、40分毎に出発する。相談員を本部、休憩所、同行、バイク、救護に編成し、生徒のサポートをする。

構成イメージ

本部（救護場所）

休憩班 1－1

： 柏駅（スタート受付） ⇒ 市立柏高（休憩所 2）

休憩班 1－2

： 市立柏高（休憩所 2） ⇒ 市立柏中（ゴール）

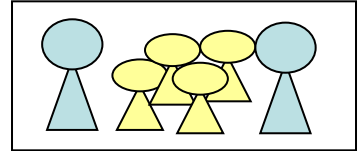
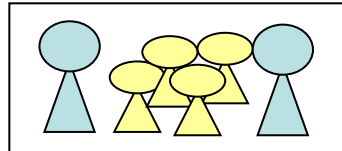
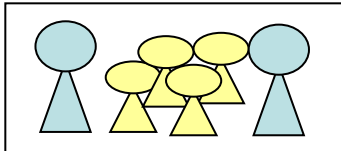
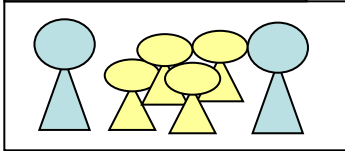
休憩班 2

： 富勢東小（休憩所 1） ⇒ 十余二小（休憩所 3）

Aグループ（250名程度）

同行

： 生徒と一緒に歩き、体調確認・ペース維持



バイク

： 誘導・安全確保

救護

： 体調不良者を本部まで搬送

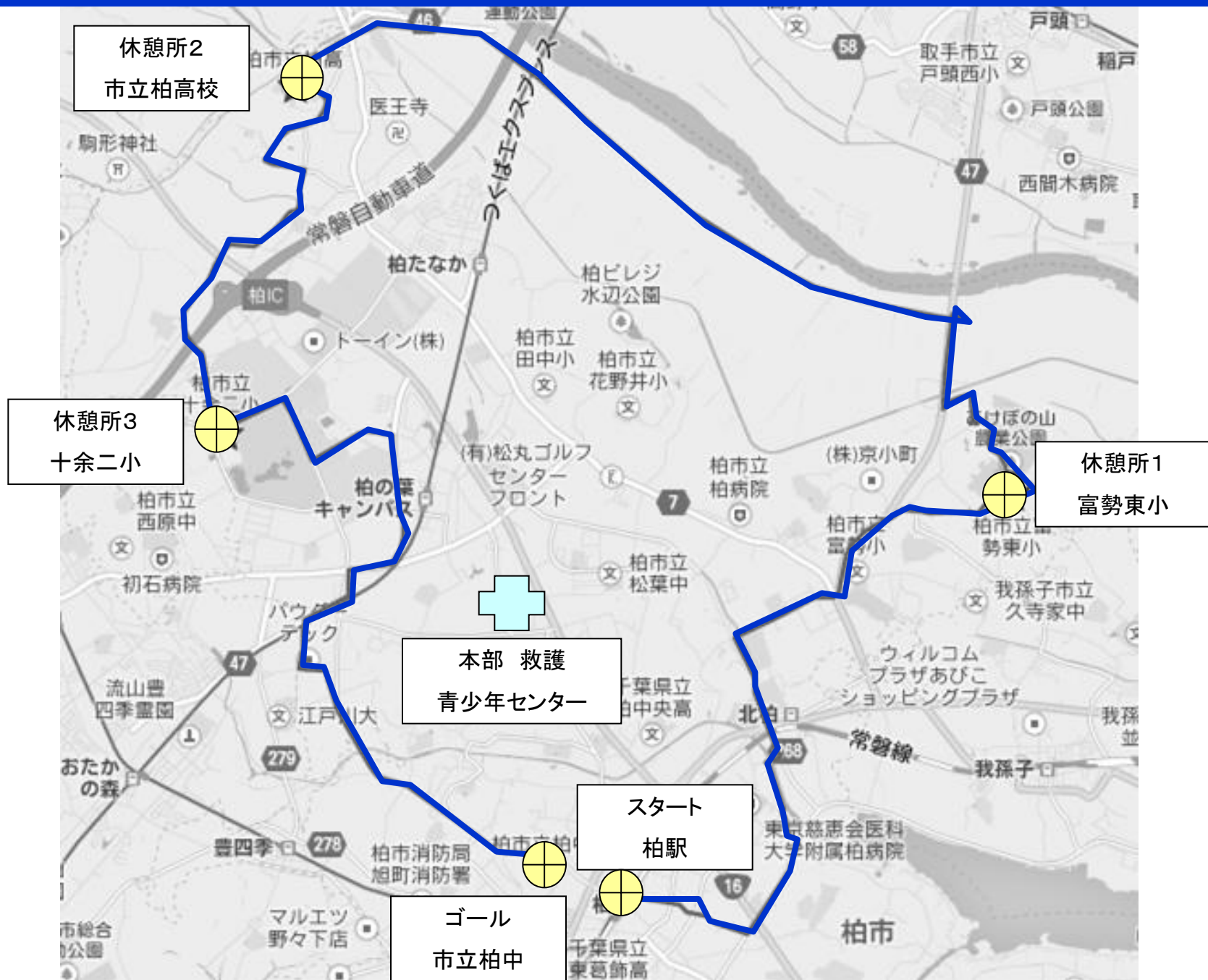
Bグループ

Cグループ

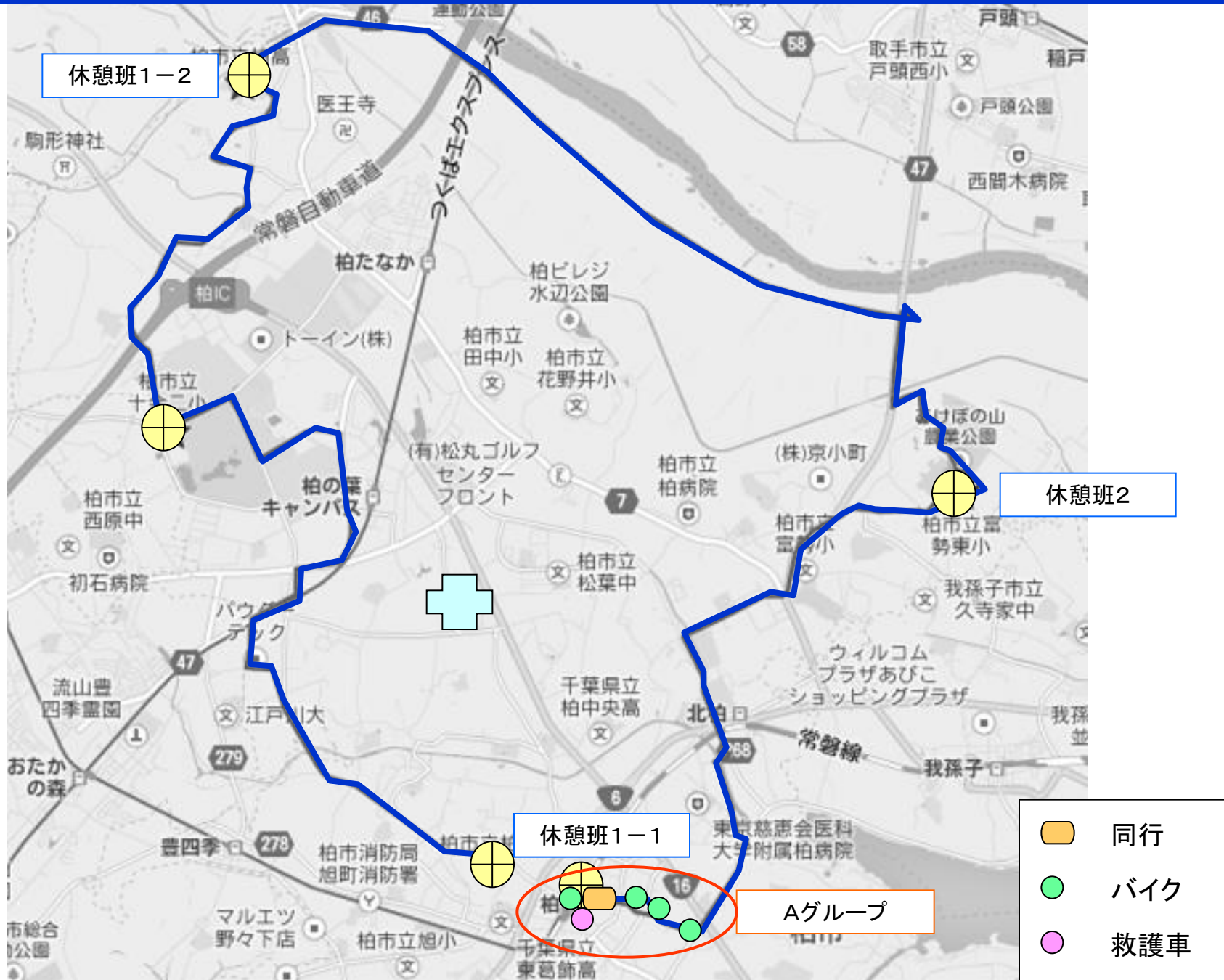
Dグループ

オーバーナイトハイク の流れ

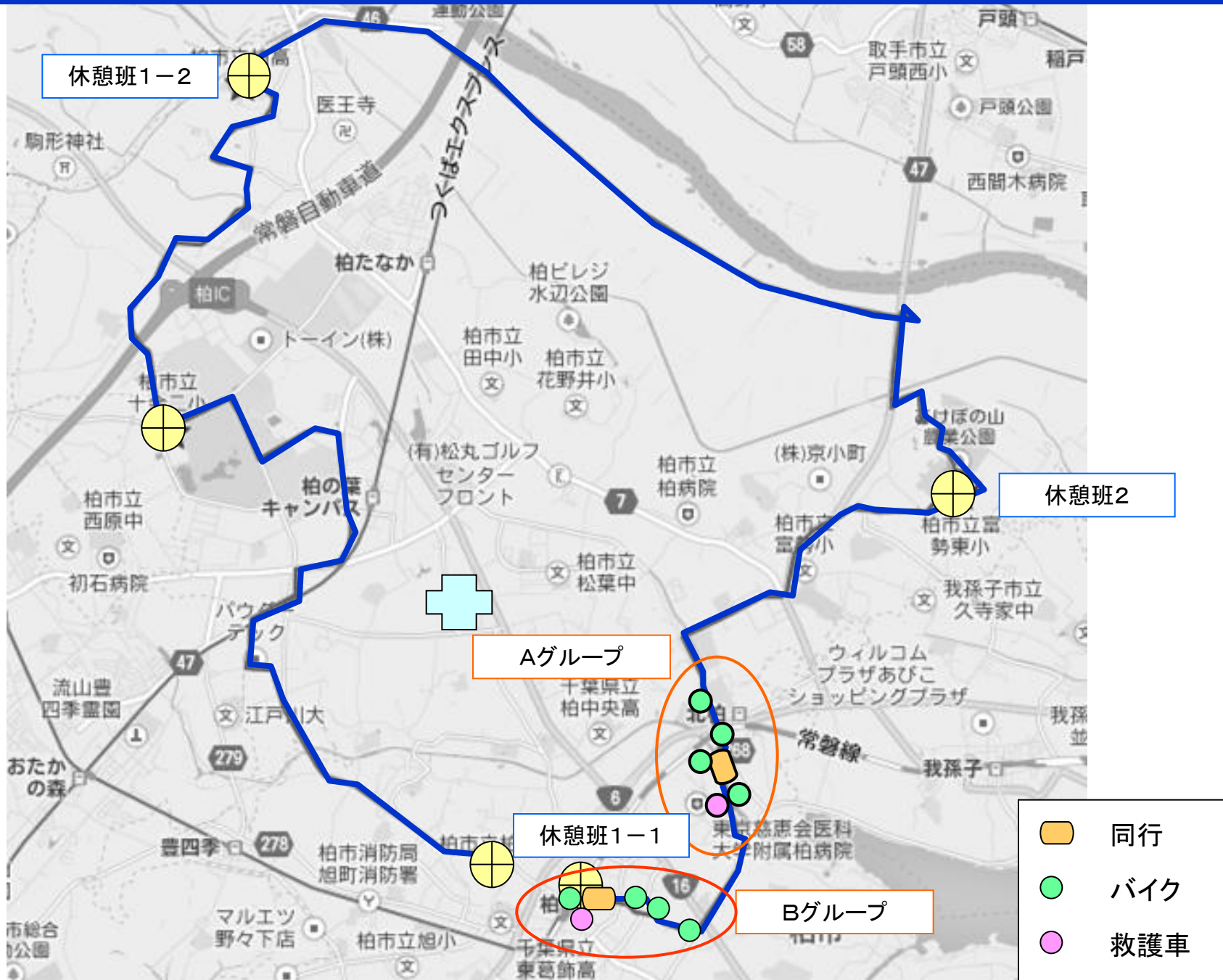
コース確認



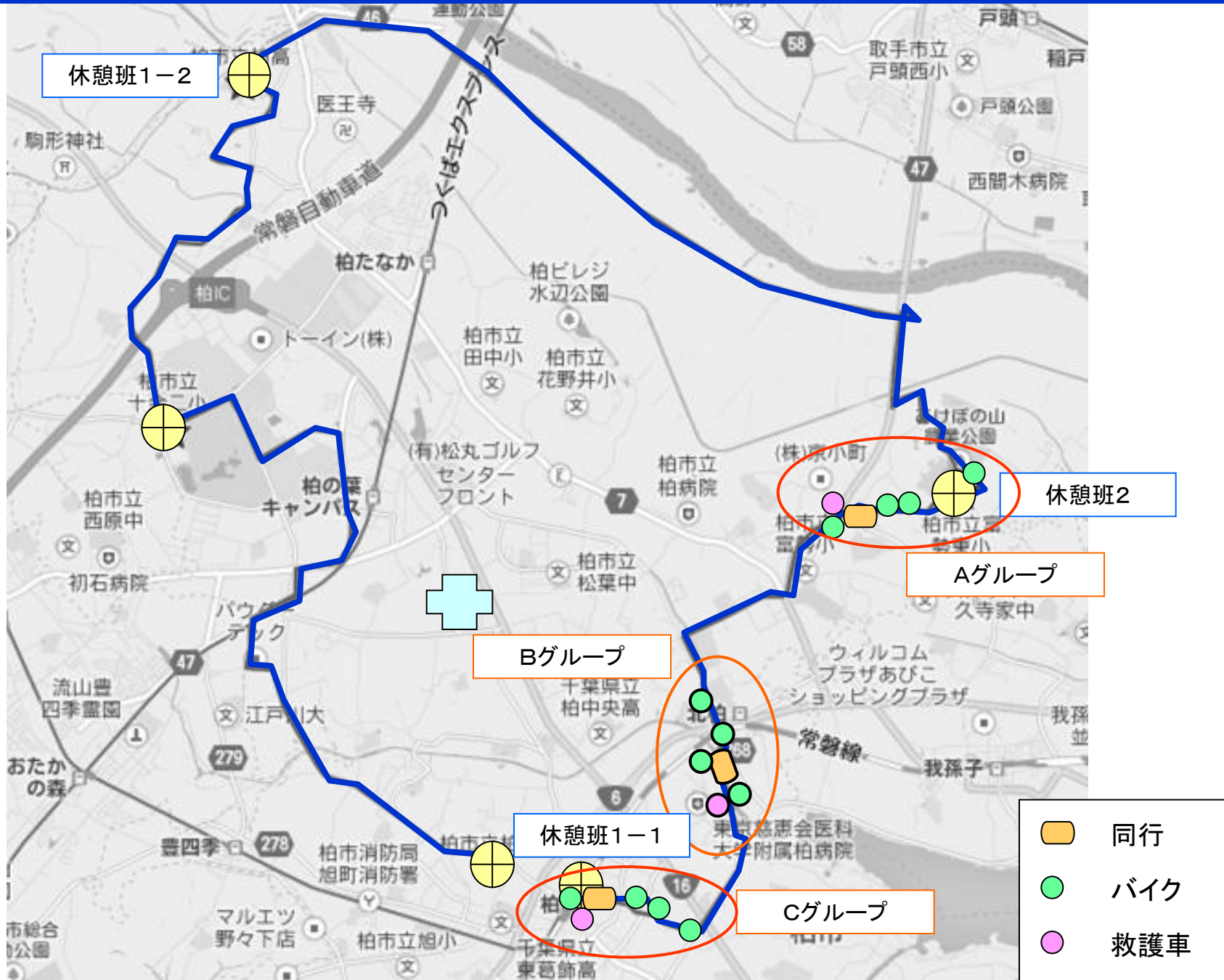
20時30分(Aグループスタート)



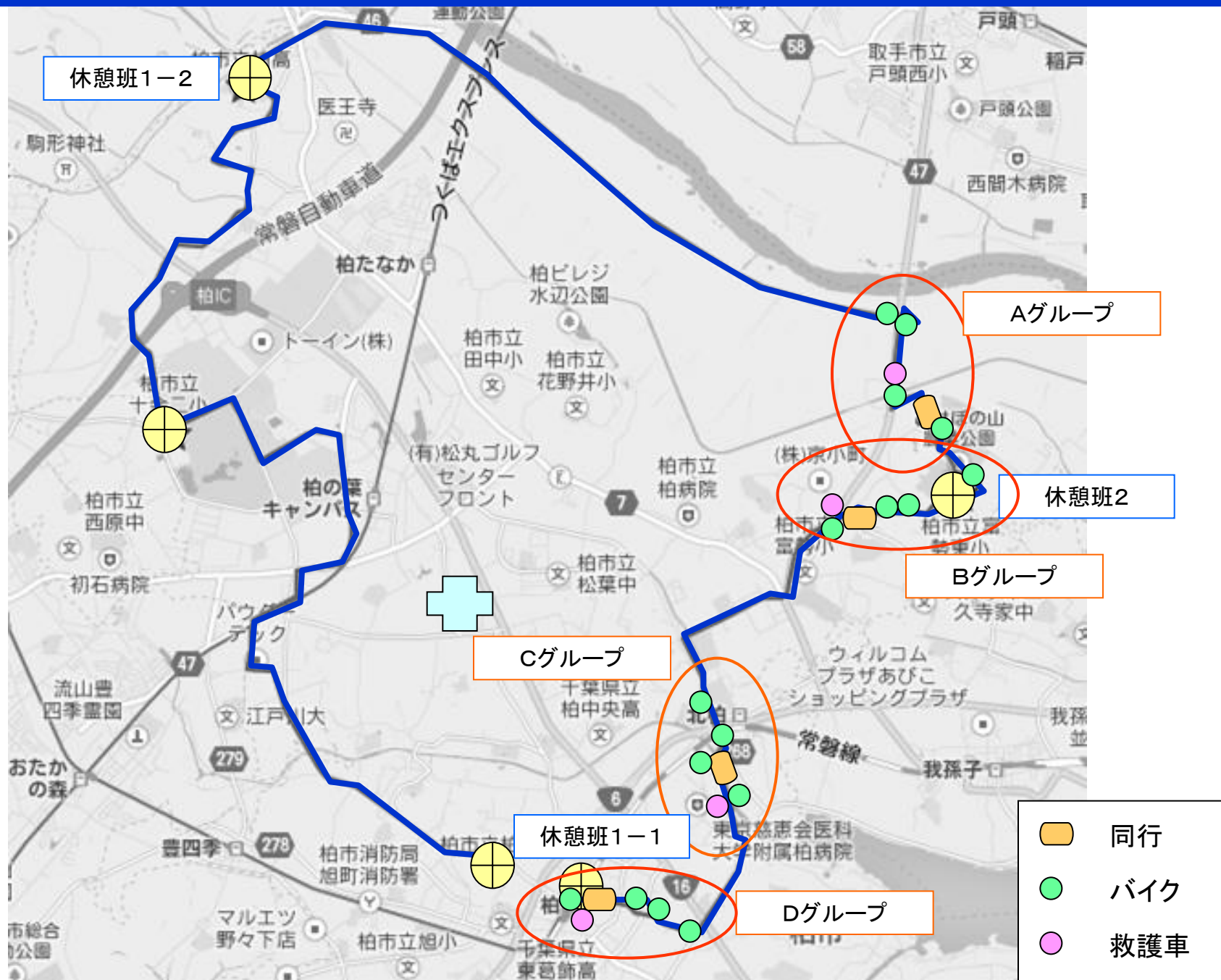
21時10分(Bグループスタート)



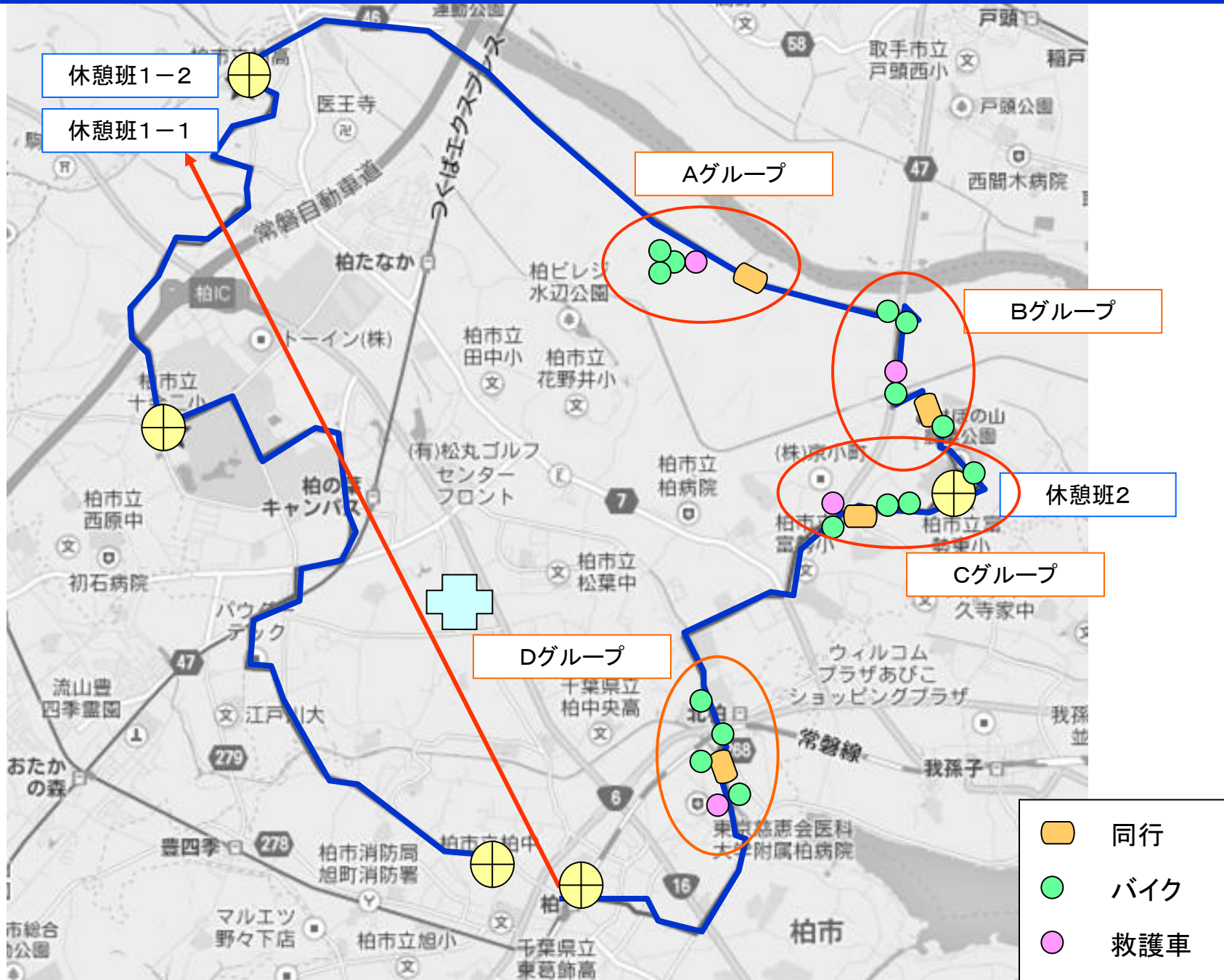
21時50分(Cグループスタート)



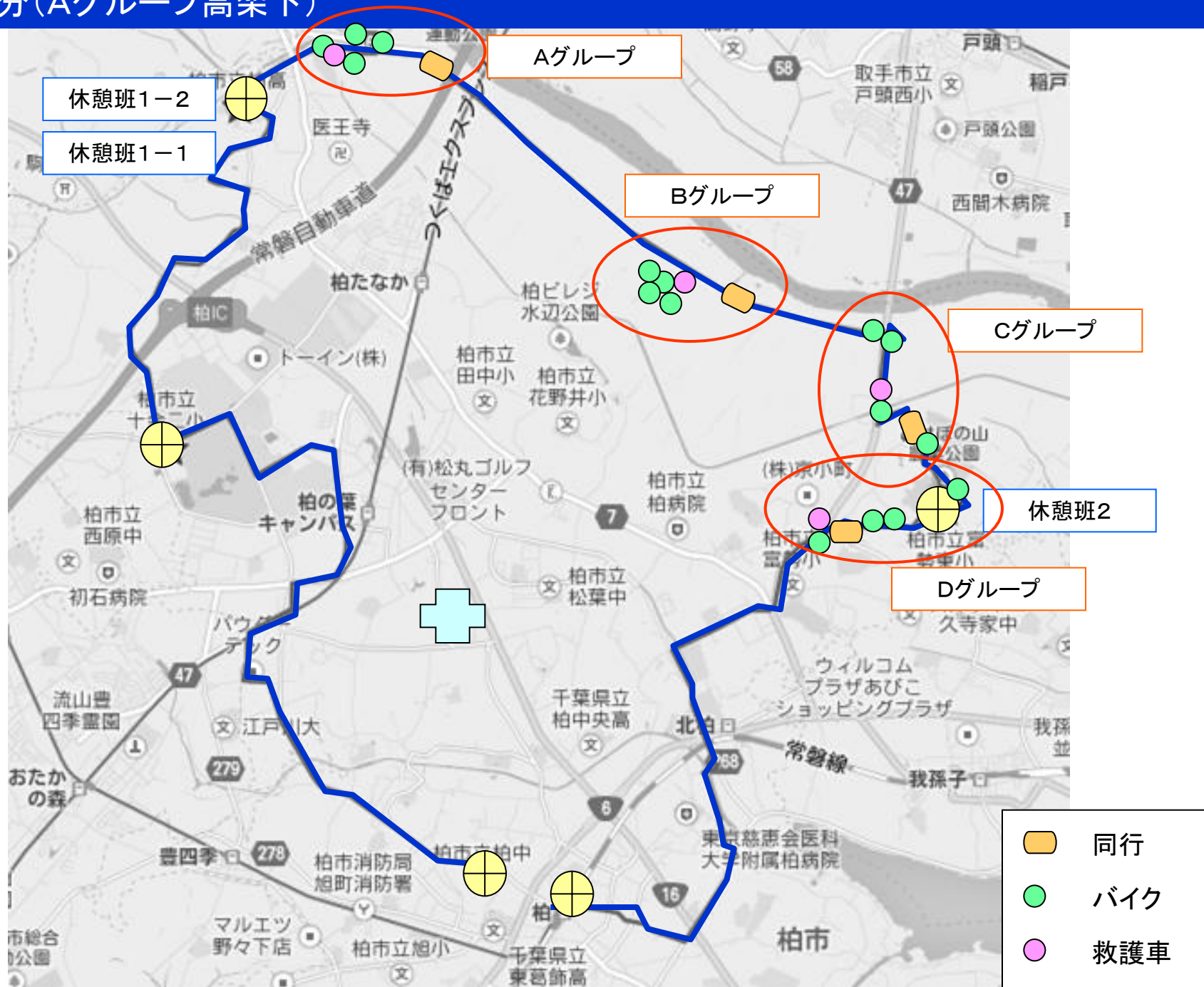
22時30分(Dグループスタート)



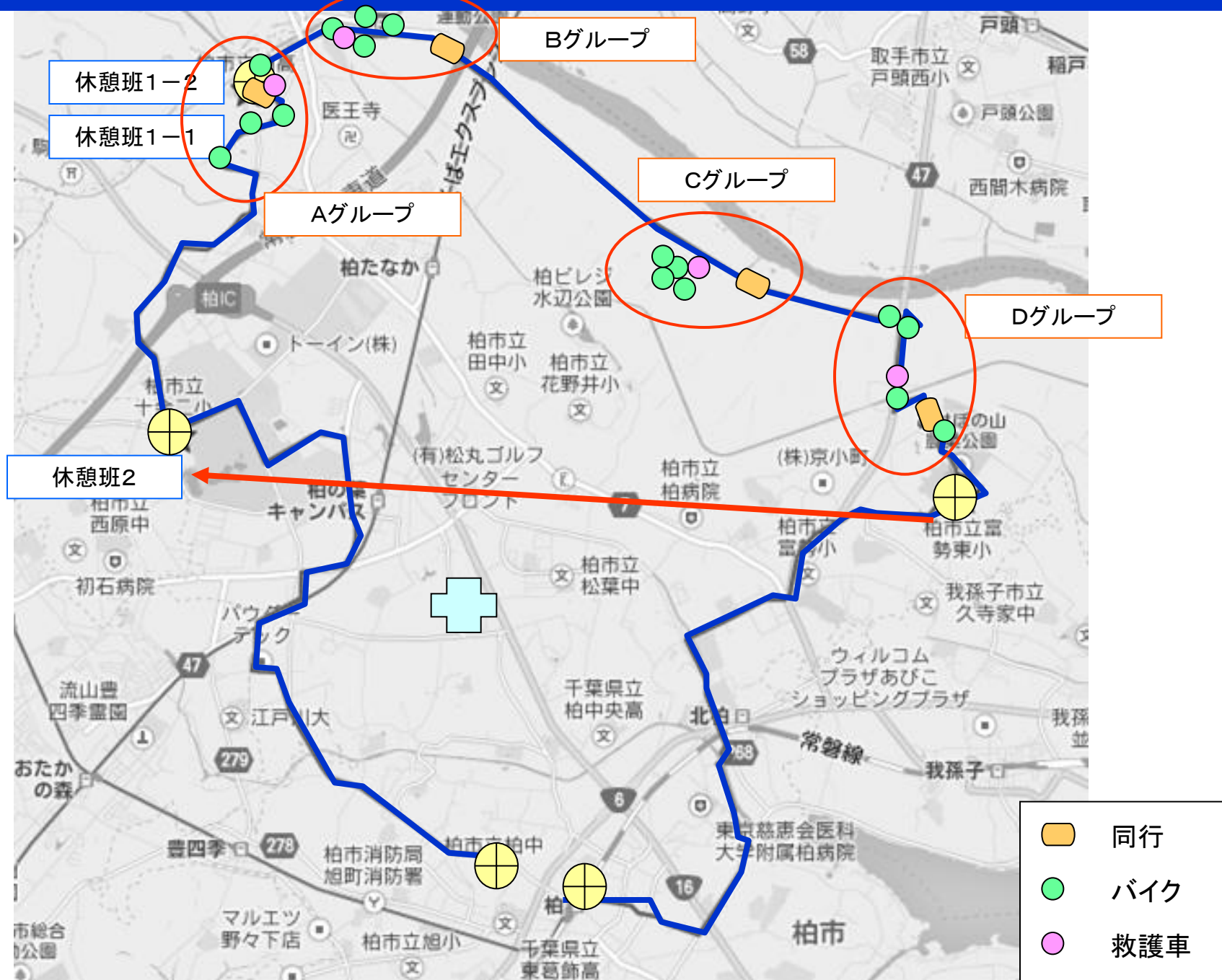
23時10分(休憩班1-1 市立柏高校へ移動)



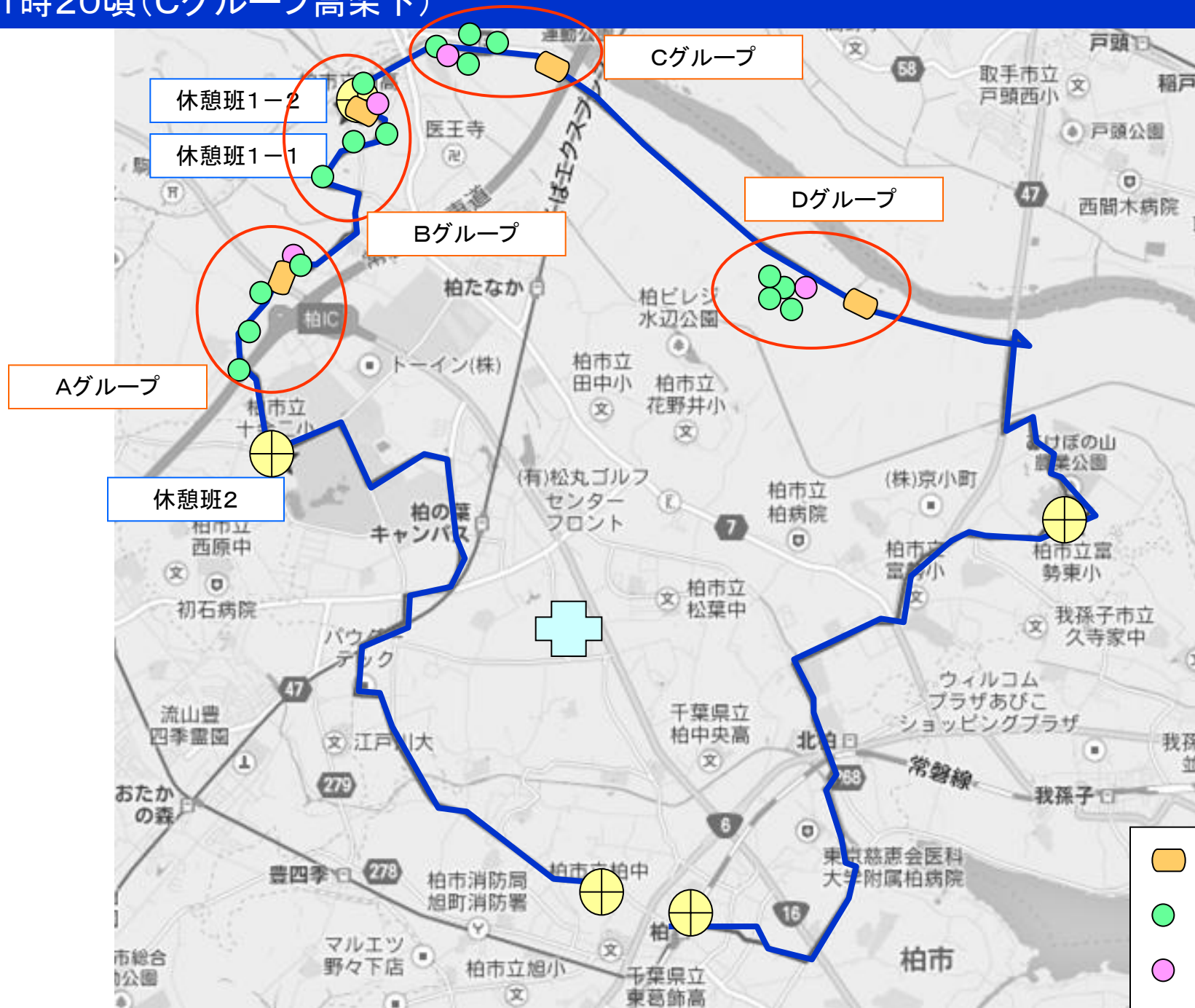
0時00分(Aグループ高架下)



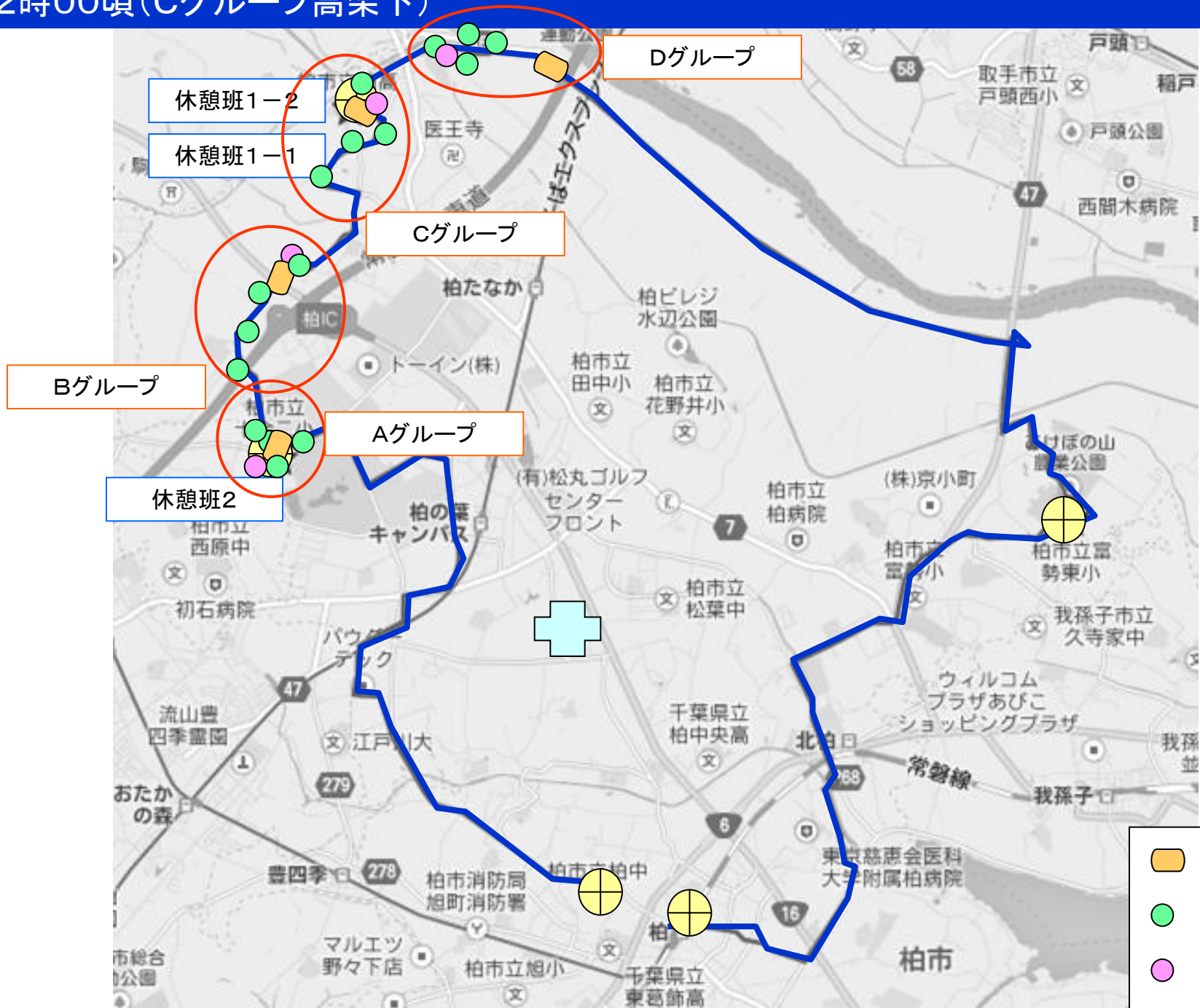
0時40頃(休憩班2 十余二小へ移動)



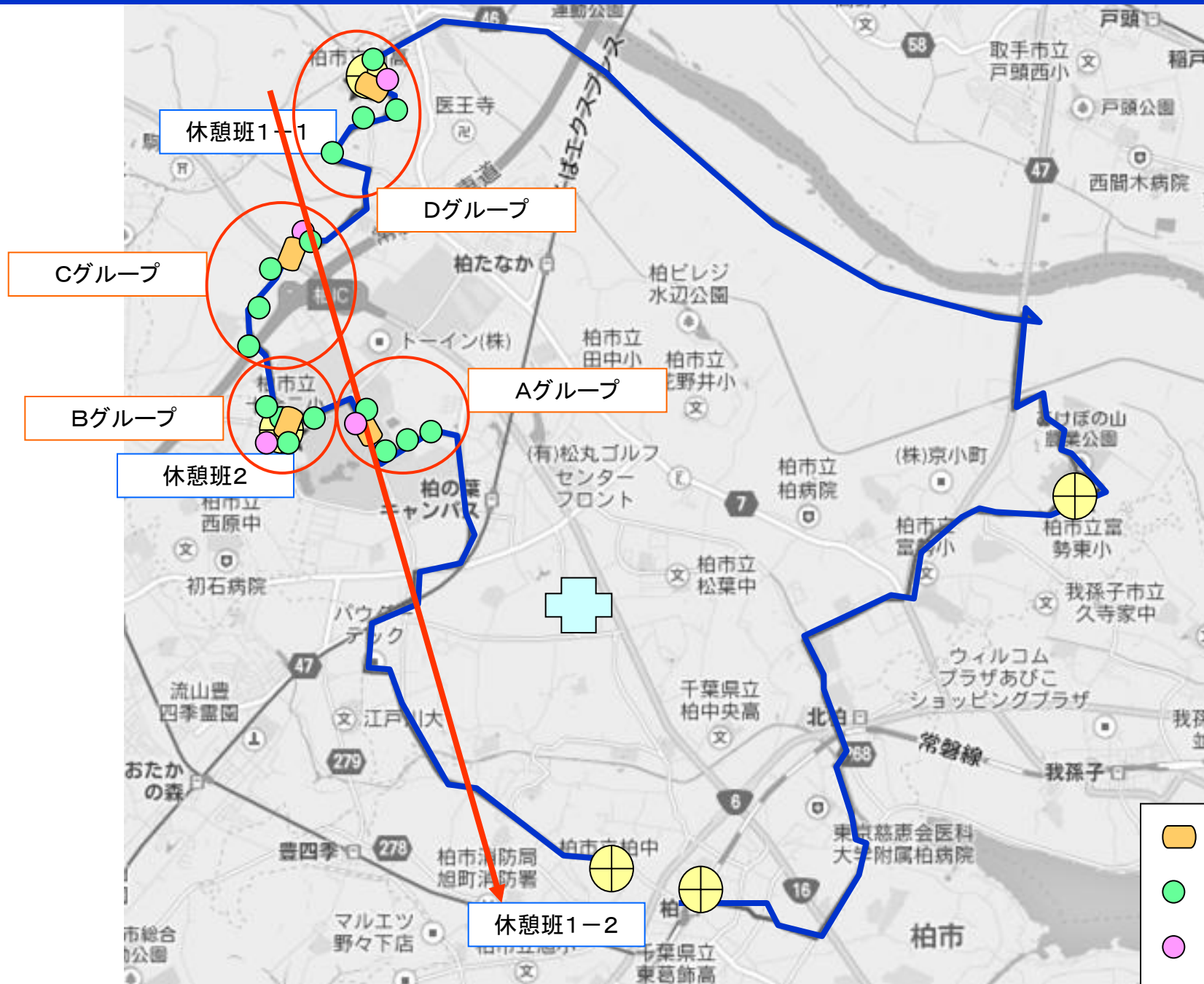
1時20頃(Cグループ高架下)



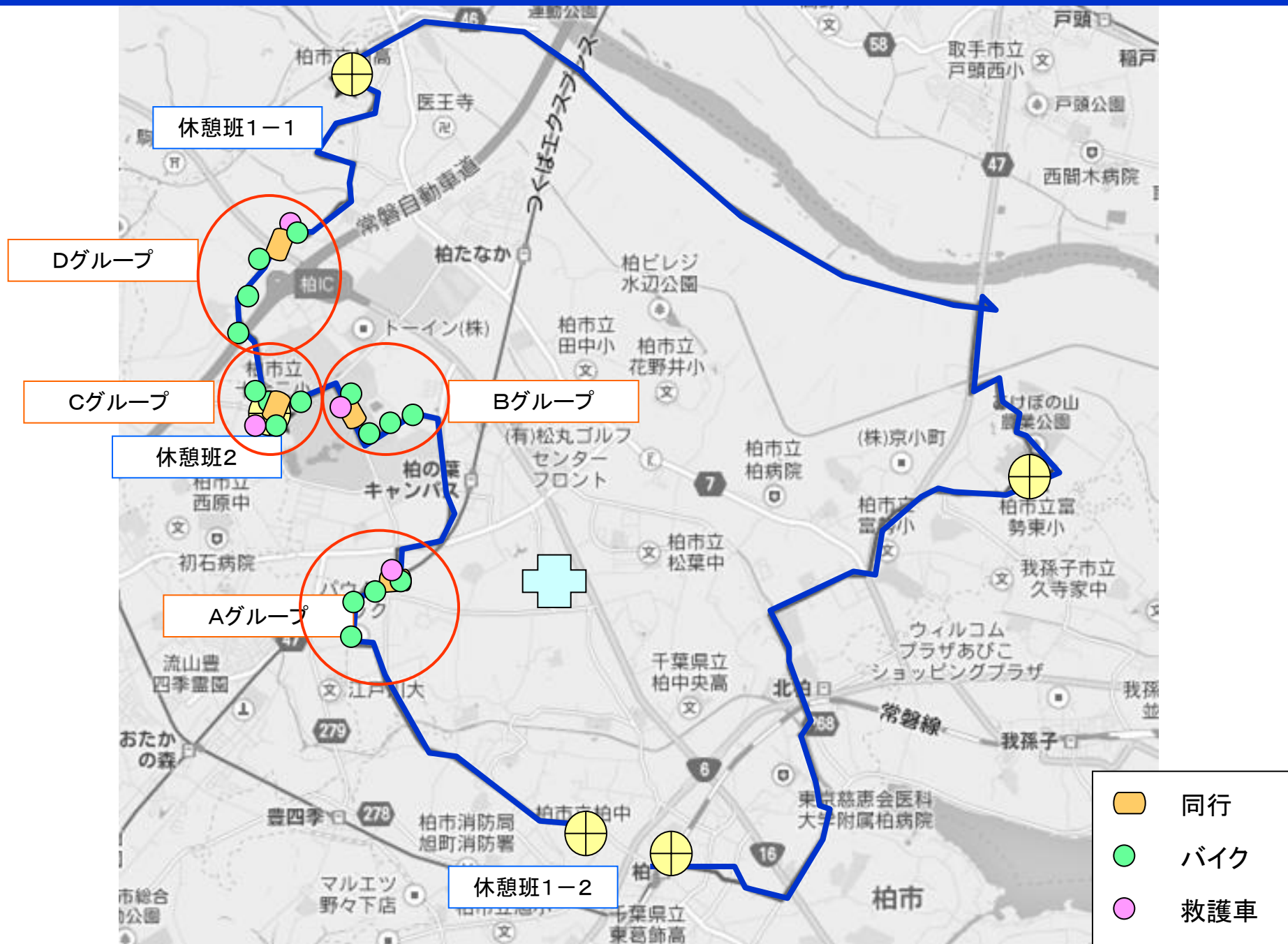
2時00頃(Cグループ高架下)



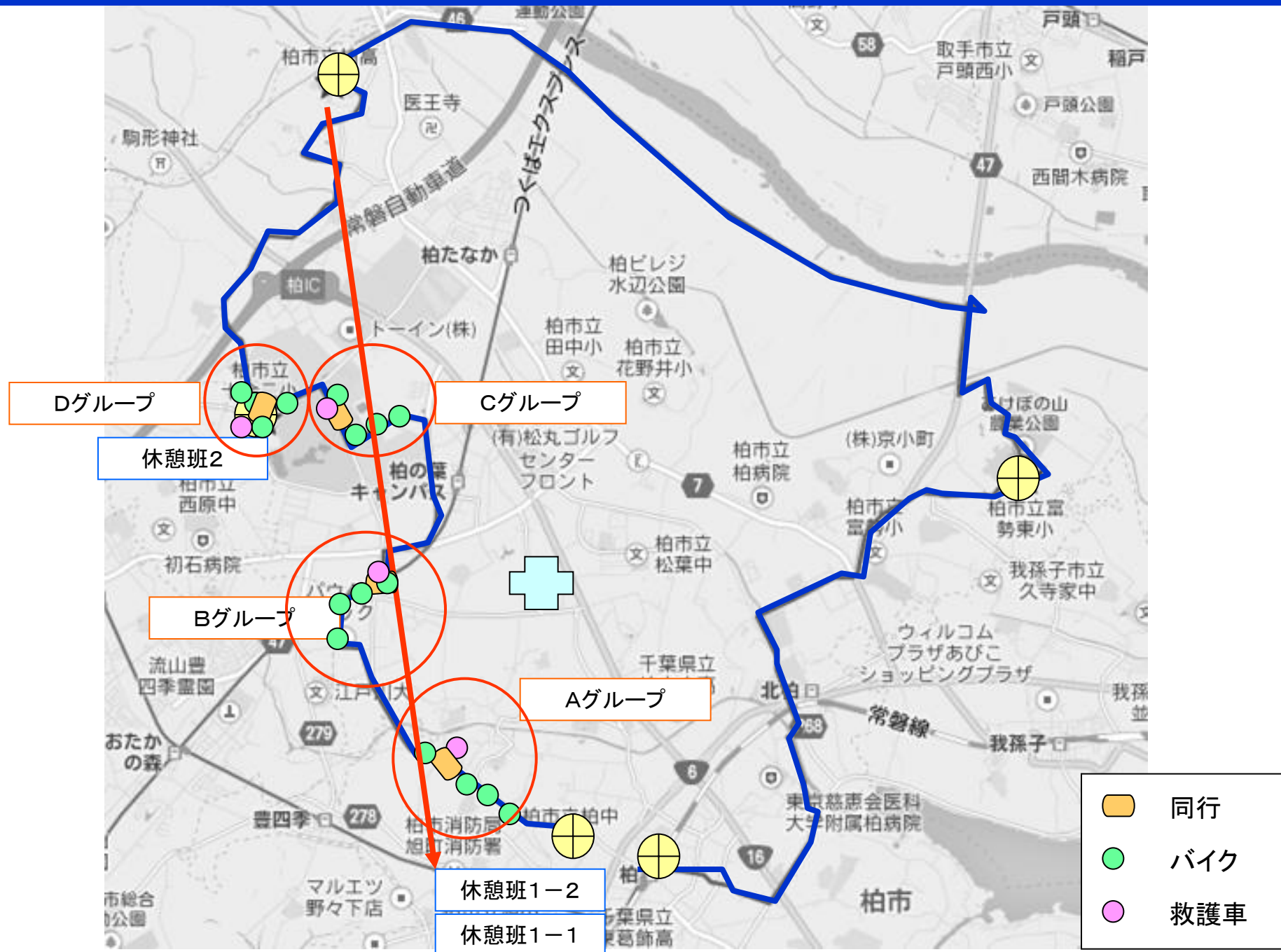
2時40頃(休憩班1ー2 ゴールへ移動)



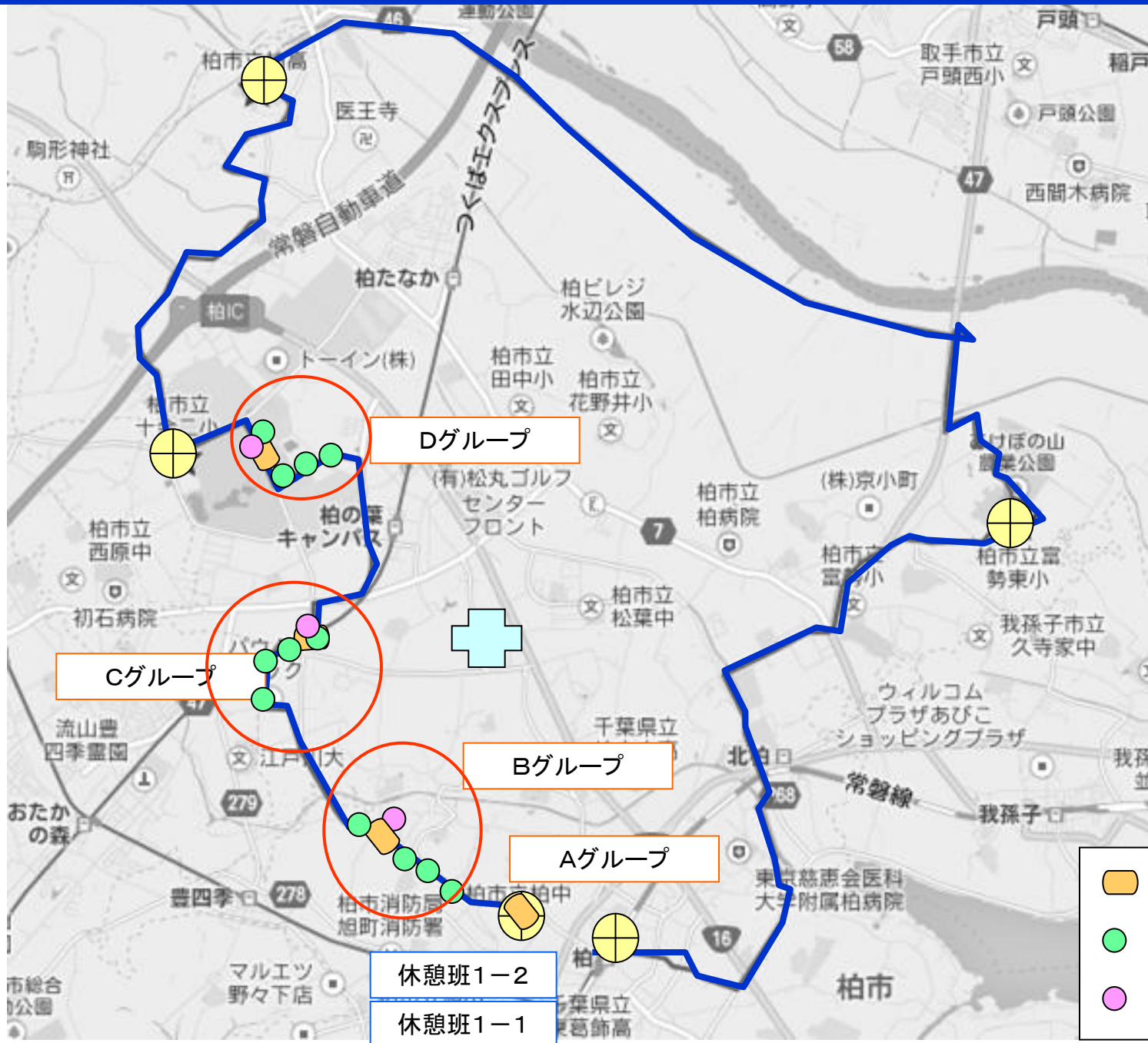
3時20頃(Cグループ 十余二小 到着)



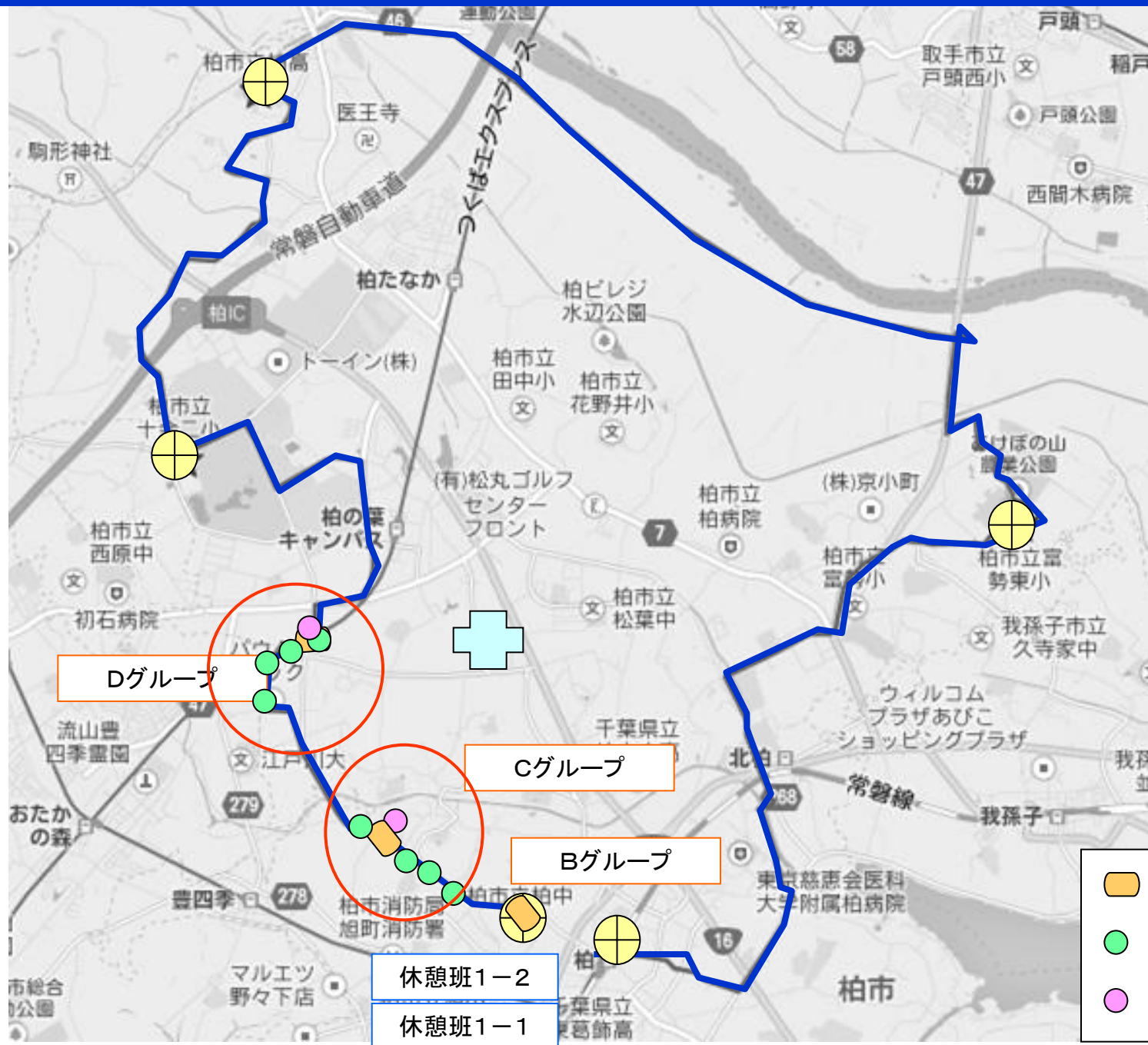
4時00頃(休憩班1-1 ゴールへ移動)



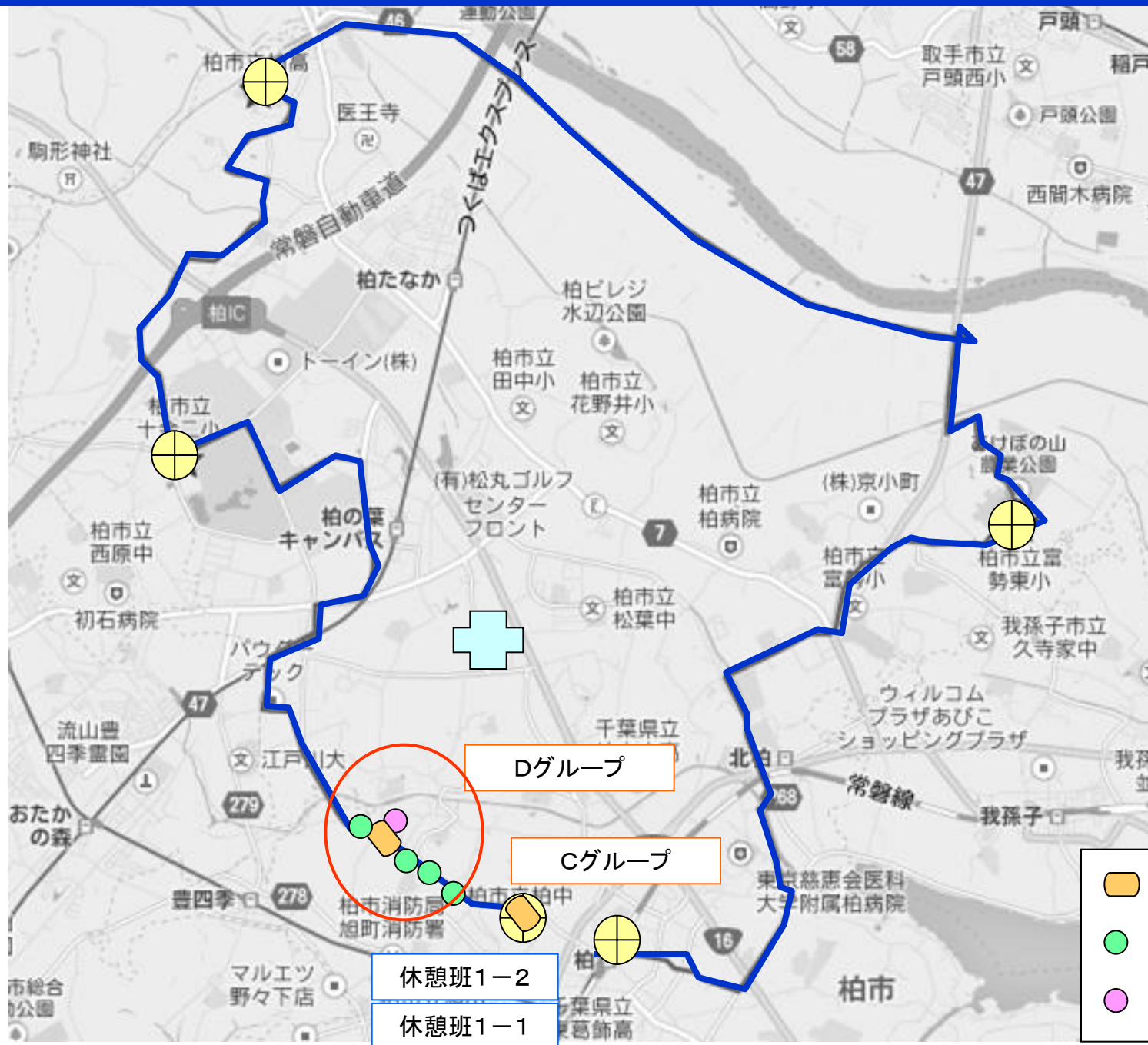
4時40頃(Aグループ ゴール 到着4時20分)



5時20頃(Bグループ ゴール 到着5時00分)



6時00頃(Cグループ ゴール 到着5時40分)



6時20頃(Dグループ ゴール)



オーバーナイトハイク

トラフレイメージ

トラブルイメージ 1【ペースの乱れ】



トラブルイメージ 2 【ペースの乱れ】



- ① グループの最後尾が間延びし、グループ同士の間隔が狭くなる。

(体調不良者、生徒が話に夢中でペースダウン)



- ② 後ろのグループ休憩所の準備時間が少なくなり、準備が間に合わなくなる

(前の組が出た後の、清掃等準備対応)



- ### ③ 後ろのグループのペースダウン、途中待機



- #### ④ 後ろのグループの体力消耗

 同行

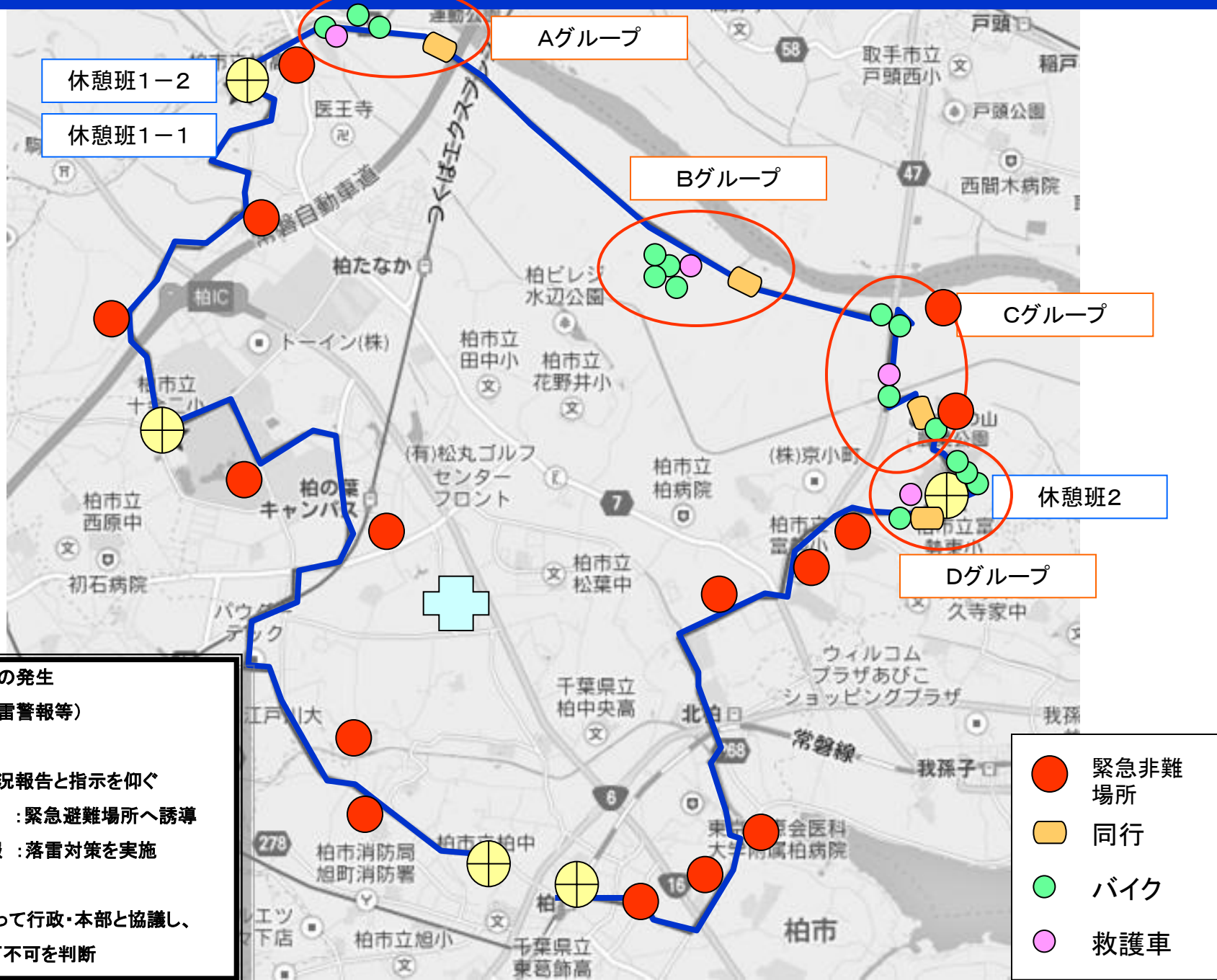
● バイク

● 救護車

トラブルイメージ 3 【救護者続出】



トラブルイメージ 4 【緊急事態の対応(地震・落雷)】



**と、色々ある
オーバーナイトハイク
を無事に終わらせるために
私達がすべきこと**

基本的なこと

1. 生徒達の安全確保が最優先

（事故、体調不良・大きな怪我による重篤な状態 ゼロ）

2. 夏つど部会が色々なケースを想定し、準備し、 決めた運用ルールを、参加する大人全員（200人） と生徒（700人）で理解し、守る・守らせる

3. 参加者同士のコミュニケーションを密にとりましょう （学区、名前、顔、性格を理解する）

構成イメージ

本部（救護場所）

休憩班 1－1

： 柏駅（スタート受付） ⇒ 市立柏高（休憩所 2）

休憩班 1－2

： 市立柏高（休憩所 2） ⇒ 市立柏中（ゴール）

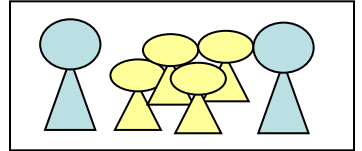
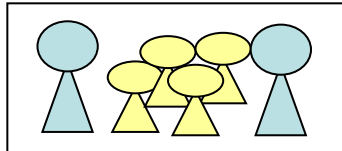
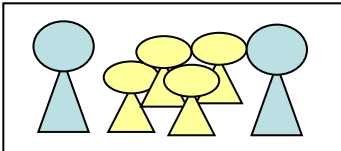
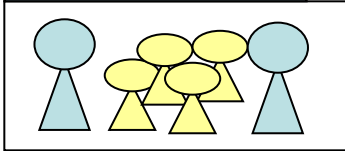
休憩班 2

： 富勢東小（休憩所 1） ⇒ 十余二小（休憩所 3）

Aグループ（250名程度）

同行

： 生徒と一緒に歩き、体調確認・ペース維持



バイク

： 誘導・安全確保

救護

： 体調不良者を本部まで搬送

Bグループ

Cグループ

Dグループ

各グループで必要なこと

■同行グループ： 生徒と一緒に歩き、体調確認・ペース維持

- ①コースを覚え、ペースを守り、生徒をフォローしながら完歩できる体力。
- ②歩行中、ルールやマナーを守り、それを生徒に周知できること。
- ③全体のペースを守るために、話に夢中になっている子のペースをアップさせたり、
体調不良者には救護車に乗るよう、生徒に毅然と注意できること。
- ④生徒との楽しいトーク



各グループで必要なこと

■バイクグループ： コース誘導・安全確保・緊急時

- ①バイクの運転免許
- ②コース・誘導場所・バイクを安全に止めれる場所を熟知していること。
- ③バイクメンバー同士の連携とコミュニケーション



各グループで必要なこと

■救護グループ： 体調不良者を本部まで搬送（本部には看護師待機）

- ①車の運転免許
- ②コース・車を安全に止めれる場所を熟知。
- ③可能な限り、医療従事者の配置



各グループで必要なこと

■休憩所グループ： 受付・休憩所3箇所・ゴールの設置・備品の用意

- ①素早く休憩所等を設置・撤収できる段取り力 と チームワーク
- ②到着・出発時間と正確な歩行人数 の管理のための休憩所のシミュレーション
- ③歩行を想定した備品のシミュレーション





色々と大変だけど

子供も、大人も

思い出に残る

O N H にしましょう!!